



## 福元正一さんが母校へ寄付金

2月12日、関西肝付町高山会会長で、現在は兵庫県神戸市で運送会社を営んでいる福元正一さんが、母校である国見小学校に寄付金を贈りました。

福元さんは、国見小学校の前身である後田小学校の卒業生です。当日は、国見小学校の子どもたち全員で先輩である福元さんを歓迎して、感謝の言葉や歌を贈りました。

福元さんは、「本をたくさん読んで、将来の自分の夢を叶えるために勉強してください。」と後輩たちにエールを送りました。今回の寄付を受け、永野町長は、「町づくりは人づくりです。福元さんの篤志とくしに感謝いたします。」と謝意を表しました。



## 新 黒毛和牛を食べて元気100倍 村畜産が牛肉を楠集中高一貫教育校へ無償提供

黒毛和牛の肉をふんだんに使った交流給食が2月8日、楠集中高一貫教育校でありました。

この日使われたのはステーキ用のサーロイン150グラム・350枚。新村畜産が無償提供したもので、和風ソースステーキに仕上げました。



交流給食には同社の新村順一郎社長も参加し、はじめに新村社長から生徒に目録が贈呈されました。生徒らは「こんなにおいしい肉を食べられる僕たちは幸せ者です。いつか町に恩返しできるような肉を食べて力をつけます」と感謝の気持ちを伝えました。

新村社長は「町で過ごした思い出が良いものになってもらえたら嬉しいです」と話しました。

## 小 惑星探査機『はやぶさ』の感動は、今も故郷に…

田崎中学校（鹿屋市）の立体制作グループ14名が制作した、小惑星探査機『はやぶさ』の模型が内之浦総合支所に展示され、約1か月の間、訪れた人の目を楽しませました。（※現在は展示を終了しています）

制作した模型は、原寸大2分の1の大きさで、学校の文化祭展示のために制作されました。学校展示後に『はやぶさ』の故郷・内之浦でも一目見てもらいたいと今回の展示に至りました。

グループのメンバーである田崎中学校3年の下西愛音あのんさんは、「郷土の誇れるものは何か？をみんなで考え、さまざまな困難を乗り越えミッションを成功させた『はやぶさ』を制作することに決めました。『はやぶさ』のように、仲間たちと協力し、困難を乗り越えていきたいです。」と話してくれました。

